

第108回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2023年12月21日（木）10:00～18:10
2. 場 所：Web 開催
3. 出席者：委員26名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長(東大)、高橋副委員長(理科大)、伊阪幹事（関西電力）、鈴木(中部電力)、波木井（東電）、木村（NIMS）、堂崎（東北大）、町田、(TEPSYS)、浅山（JAEA）、大谷（MFBR）、平野（日立GE）、渋鋤（IHI）、楠（日本原電）、爾見（発電技検）、中村（川崎重工）、三浦（電中研）、朝田（三菱重工）、室伏（東芝 ESS）、高柳（電機協会）、増川（火原協）、松永（東芝 ESS、原専長）、西井（電源開発、材専長）

【委員代理】

小杉（HSB ジャパン、山口委員代理）、飯田（JERA、藤田火専長代理）、戸張（QST、橋爪核専長代理）

【欠 席】

川畑（東大）

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

藤澤、戸田（以上原子力規制庁）

相良主査、石山幹事（以上 JSME 動エネ部門 GAP 分科会）

山田（中部電力）、野村（CSエンジニアリング）、高屋（JAEA）、鬼澤（JAEA）、白井（電中研）、清水（日立GE）、岡島（JAEA）、北条（三菱重工）、望月（大阪大学）、大林（三菱重工）、石川（QST）、伊藤（IHI）、永田（日立GE）、大竹（日立GE）、志田（東京電力）

【事務局】

松岡、中村、渡邊

4. 配布資料

- 108-0：第108回 発電用設備規格委員会議事次第案
- 108-1：第107回 発電用設備規格委員会議事録案
- 108-2：発電用設備規格委員会名簿案
- 108-3-1：動エネ部門 GAP 分科会の活動について
- 108-3-2：原専共通課題に関する審議案件リスト
- 108-3-2-1：推奨表記集意見対応
- 108-3-2-2：発電用設備規格の事例規格の出版に関する特別規定（内規）の改定提案
- 108-3-2-3：規格の年版及び事例規格の制定日について
- 108-3-2-4：公衆審査用原稿における誤記等の低減に向けた対応について
- 108-4：第97回規格委幹事会議事録案
- 108-5：投票結果
- 108-6-1：質問受付・回答状況
- 108-6-2：公衆審査結果
- 108-7：火力専門委員会報告
- 108-8：原子力専門委員会報告
- 108-9：材料専門委員会報告
- 108-10：核融合専門委員会報告
- 108-11-1：規格類協議会 議事メモ
- 108-11-2_JSME 主要3規格の技術評価対応状況

108-11-3_ASME Code Week (2023 年 11 月) 概要報告_20231130R2
108-11-4_原子炉長期運転のための大型機器の構造力学的保全
108-11-5-1 電工会報告概要
108-11-5-2 2022 年度活動実績報告書(表紙&序文)
108-11-6: 規格出版状況
108-11-7: 投票システム改良の検討状況(2 報)
108-12-1-1: 202X 年版改訂提案_総則
108-12-1-2: 新旧対比表 202X_1 章
108-12-2-1: 202X 年版改訂提案_圧力容器提案資料
108-12-2-2: 新旧対比表_202X_4 章-1(目次-UG)
108-12-2-2: 新旧対比表_202X_4 章-2(UW-UHX)
108-12-2-2: 新旧対比表_202X_4 章-3(APP1-42)
108-12-3-1: J NCF141 の事例規格書面投票提案書
108-12-3-2: 審議履歴 re2
108-12-3-3: J NCF141 事例規格案 r1
108-12-3-4: JNCF141 事例規格 書面投票用原稿本文_注釈付き r1
108-13-0: #108 規格委_設計・建設分科会 審議案件_R0
108-13-1-0: 2024Ed_改定提案その 2 _231221 規委
108-13-1-1: DC23-25_解説 PVB-3111 解析モデル板厚取り扱い_231221 規委
108-13-1-2: 2024Ed (その 2)改定提案_原専書面投票対応_R1
108-14-0: 規格委員会_溶接分科会審議案件
108-14-1: 「超音波探傷試験」への対比試験片の追加_規格委員会意見回答審議
108-14-2: 溶接後熱処理における溶接部の厚さ及び母材の厚さ_規格書面投票意見回答審議
108-14-3: 引用規格の略称表記の統一_規格書面投票意見回答審議
108-14-4: 溶接規格 2020 年版正誤表(その 2)_規格書面投票結果報告および意見回答
108-14-5: レーザビーム溶接における確認項目_規格委員会書面投票 R1
108-14-6: 事例規格デジタル RT(案) 書面投票提案
108-15-0: 資料リスト
108-15-1: 事例規格 管台丸み部応力拡大係数
108-15-2: 添付 E-8 LL 法への FEA 適用
108-15-3: 事例規格集 (2024)
108-15-4: 引用規格の年版更新
108-16-1-1: 材料規格に対する正誤表発行
108-16-1-2: 原専 LB No. 723 (正誤表) 意見対応案
108-16-2-1: 材料規格 2012 年版技術評価時の「適用にあたっての条件」への対応
108-16-2-2: 原専 LB No. 724 (Su 値) 意見対応案
108-16-3-1: 材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 2) (2022 年 JIS 改正対応)
108-16-3-2: 2022 年 JIS 年版変更評価検討票 (除く JIS G 5502)
108-17: 高温規格分科会審議案件リスト
108-17-1: ETD22-012_解説 FSSB-3000 の簡素化
108-17-2: ETD22-014_用語「条」「項」「号」の使用方法的適正化
108-17-3: (ETD23-004) 第 II 編 2025 年版準用規格年版の更新提案 (その 1)
108-17-4-1: 【審議依頼】添付 13-B の代替規定_20231221
108-17-4-2: 【提案資料一式】添付 13-B の代替規定 20231221
108-17-5: ETD19-001_「長期一次応力が低い場合の規定」の代替規定
(108-18: 欠番)
(108-19: 欠番)
(108-20: 欠番)

108-21-1_環境疲労評価手法 審議経緯と今後の進め方
108-21-2_環境疲労評価手法 2022 年版 メール審議結果報告
(108-22：欠番)
(108-23：欠番)
108-24-1-1：公衆審査ご意見への対応
108-24-1-2：公衆審査_ご意見者 1_回答
108-24-1-2：添付_ご意見者 1 コメント 15 の説明図
108-24-1-3：公衆審査_ご意見者 2_回答
108-24-1-4：公衆審査_ご意見者 3_回答
108-24-1-5：修正内容一覧表（目標信頼性ガイドライン）
108-24-1-6：ガイドライン修正案_発刊準備
108-25-1：規格委メール審議提案 r1
108-25-2：「規格委提案 来歴・竜巻ガイドライン改定提案」r1
108-25-3-1：原子力専門委員会メール審議 No. 124 の投票結果及び意見対応
108-25-3-2：原子力専門委員会メール審議 No. 133 の投票結果及び意見対応
108-25-3-3：原専メール審議意見対応について
108-25-4-1：竜巻ガイドライン改定案 公衆審査用原稿案
108-25-4-2：新旧対照表
108-25-4-3：「竜巻ガイドライン改定骨子」
108-25-5：公衆審査計画
108-26-1：書面投票 No. 619 意見対応結果
108-26-2：材料事象解説 2024 年版 公衆審査計画

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の 2/3 以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 108-1】

事務局より、事前配布版からの追加事項等が説明された。挙手による採決の結果、議事録として承認された。

(2) 委員人事

(2-1) 規格委員会及び専門委員会役員・委員人事【108-2】

規格委員会の委員及び各専門委員会の役員・委員の人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。なお、規格委員会の人事については、次回理事会の承認を以て確定される。

➤ 規格委委員会

〔再任〕高橋副委員長（理科大）、朝田委員（三菱重工）、山口委員（HSB ジャパン）、高柳委員（電機協会）

〔退任〕室伏委員（東芝 ESS）

〔新任〕松永委員（東芝 ESS、前原専長）

➤ 火力専門委員会

〔役員〕委員長：飯田英男（JERA）、副委員長：富永公彦（三菱重工）、幹事：三好禎一（川崎重工）

〔再任〕－

〔新任〕富永副委員長（三菱重工）、松尾委員（日本製鉄）

〔退任〕藤田前委員長（マックスコーポレーション）

➤ 原子力専門委員会

〔役員〕委員長：高屋 茂（JAEA）、副委員長：中島 誠（三菱重工）、幹事：山田浩二（中部電力）

[再任] 中島副委員長（三菱重工）、山田幹事（中部電力）、稲田委員（電中研）、永田委員（日立GE）、野村委員（CSE）、佐藤長光委員（発電技研）、定廣委員（富士電機）、荒川委員（TEPSYS）、北村委員（関西電力）、中山委員（電気協会）

[新任] 佐々木委員（川崎重工）

[退任] 中村委員（川崎重工）

➤ 材料専門委員会

[再任] 茂山委員（電中研）

[新任] —

[退任] —

➤ 核融合専門委員会

[再任] —

[新任] —

[退任] —

(2-2) 規格委員会次期役員の指名【資料 108-2-3, 4】

笠原委員長の任期が2024年2月より2期目に入ることを受け、副委員長、幹事の指名が行われた。なお、副委員長については2024年1月末まで、現高橋副委員長が引き続きその任に当たる。

・新副委員長：松永圭司（東芝 ESS）

・幹事：伊阪幹事が引き続き2期目の任にあたる

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) JSME 動エネ部門 ガイ・アグニ プロジェクト(GAP)の紹介【資料 108-3-1】

(説明者：GAP 分科会 相良主査、石山幹事)

ガイ・アグニ プロジェクト(GAP)相良主査及び石山幹事より、プロジェクトの概要と発電用設備規格委員会への協力要請について説明が行われた。内容は以下のとおり。

- 本研究会では超臨界 CO₂ ガスタービン発電技術等を用いて核融合炉、高温ガス炉、熔融塩炉、高レベル廃棄物等の核熱、地熱、バイオマス、太陽熱、水素基調火力等再生可能エネルギーなど地上 (Gaia) におけるあらゆる高温熱源 (Agni) からエネルギーを抽出する次世代型発電システムの構築を目指し、2年間に渡り当該技術開発に関する調査、議論を行い、最適なシステムや導入シナリオ、技術開発課題及び課題解決方を整理し、報告書にまとめた。
- 技術課題解決に向け、発電技術に関する知見を持つ発電用設備規格委員会及び傘下の専門委員会への協力を得るべく、委員会活動への参加を希望する。

主な議論は以下のとおり。

- 非常に新規性の高い技術開発を目指しているとの印象を持った。発電規格委員会は研究開発を行う場ではなく、確立された技術を安全性と経済性のバランスを見ながら規格としてまとめることを目的としており、GAP 分科会の期待に沿えるのは難しいかも知れない。
- 委員会への参加方法としては常時参加者という制度もあるが、当面はオブザーバ参加をして様子を見ることをお勧めする→了解した。

(3-2) 共通課題に関する審議：【資料 108-3-2】(説明者：原子力専門委員会 高屋幹事)

- 「原子力専門委員会 推奨表記集の改定」の承認：規格委員会投票 No. 603 での意見対応状況が説明され、意見回答案及び回答に伴う修正に関し、今後の対応に応じて、原子力専門委員会での可決を条件としたメール審議又は書面投票（いずれの場合も期間は15日間）を実施することが承認された（資料 108-3-2-1）。
- 発電用設備規格の事例規格の出版に関する特別規定（内規）の改定提案：原子力専門委員会での可決を条件に書面投票を実施することが承認された（資料 108-3-2-2）。

- 規格の年版及び事例規格の制定日：運営規約等（特に、発電用設備規格の原案策定に関する内規）に基づく規格の年版及び事例規格の制定日の解釈について審議され、「規格年版及び事例規格の制定日は、公衆審査を経て技術的な審議が完了したことを規格委員会にて確認した日とすること。」が承認された（資料 108-3-2-3）。
- 公衆審査用原稿における誤記等の低減に向けた対応：原子力専門委員会における今後の対応等が説明された（資料 108-3-2-4）。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議【資料 108-12】

（説明者：火力専門委員会 飯田幹事）

- 詳細規定 第 1 章 総則の改定案：以下の改定提案が説明された。挙手による採決の結果、30 日間の書面投票を実施することが承認された。（資料 108-12-1）
 - ①参照する ASME 規格の年版改定の反映
 - ②ASME SI 単位系の採り入れ
 - ③誤記修正、表現の見直し
- 詳細規定 第 4 章 圧力容器の改定案：第 4 章についても第 1 章と同様の項目について改定を行うことが提案された。挙手による採決の結果、ページ数を考慮し 60 日間の書面等を行うことが承認された。（資料 108-12-2）
- J NCF141 に関する事例規格：J NCF141（旧称 ALLOY141）に対する材料事例規格について提案説明が行われた。火力専門委員会の依頼により同合金の材料仕様及び許容値を策定した材料専門委員会にて事例規格案の内容を事前にレビューしたいとの申し出があり、合意された。（資料 108-12-3）

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 108-13】

（説明者：設計・建設分科会 朝田主査）

- 設計建設規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：以下の投票意見対応について説明が行われ、挙手による採決により承認された。
 - ・DC-21-19「配管応力解析における JIS 長手溶接鋼管の許容引張応力」：規格委員会書面投票 No. 614（資料 108-13-1）
- 新規改定提案の審議：以下の項目について、原子力専門委員会での審議可決を件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ・DC23-15：解説 PVB-3111 一次応力評価での解析モデルの板厚の取り扱い（資料 108-13-2）

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 108-14】

（説明者：溶接分科会 藤田幹事）

- 溶接規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：以下の投票意見対応 3 件について説明が行われ、挙手による採決により承認された。
 - ①W21-09「超音波探傷試験」への対比試験片の追加：規格委員会書面投票 No. 606（資料 108-14-1）
 - ②W22-03「溶接後熱処理における溶接部の厚さ及び母材の厚さ（例）への事例追加」：規格委員会書面投票 No. 615（資料 108-14-2）
 - ③W22-13「引用規格の略称統一」：規格委員会書面投票 No. 616（資料 108-14-3）
- 溶接規格 2020 年版正誤表発行提案 意見対応の審議：以下の投票意見対応 2 件について説明が行われ、挙手による採決により承認された。
 - ①W23-10「記載不整合等の対応」：規格委員会書面投票 No. 608（資料 108-14-4）
 - ②W23-13「溶接士に関する用語」：規格委員会書面投票 No. 608（資料 108-14-4）
- 新規提案の審議：以下の 2 項目について、原子力専門委員会での審議可決を件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。

- ①W15-15：溶接規格規格 2024 年版改定案「レーザビーム溶接における確認項目」（資料 108-14-5）
- ②W23-01：事例規格「デジタル検出器を用いた放射線透過試験方法」の制定（資料 108-14-6）

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 108-15】

（説明者：維持規格分科会 野村主査、町田幹事、同評価作業会 北条主査）

- 維持規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：
 - ① 「事例規格・管台丸み部の応力拡大係数算出式」：規格委員会書面投票 No. 618 での意見対応案が承認された。（資料 108-15-1）
 - ② 「極限荷重評価法への有限要素解析の適用」：規格委員会書面投票 No. 568 での意見対応案について、提案の取り下げが承認された。（資料 108-15-2）
- 維持規格 2024 年版改定案 新規提案の審議：以下の 2 項目について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ① 事例規格集（2024 年版）（資料 108-15-3）
 - ② 引用規格の年版更新（資料 108-15-4）

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 108-16】

（説明者：材料分科会 山田主査）

- 材料規格正義表発行提案の修正：前回 第 107 回規格委員会において原専での可決を条件に祖面投票の実施を承認された正誤表について、原専投票での意見対応により修正を行ったことが説明された。原専での再投票を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。（資料 108-16-1）
- ASME 相当材 S u 値見直し提案の修正：前回 第 107 回規格委員会において原専での可決を条件に祖面投票の実施を承認されたが、原専投票での意見対応により修正を行ったことが説明された。原専での再投票を条件に規格委員会での書面投票を行うことが承認された。（資料 108-16-2）
- 材両規格 2024 年版改定案 新規提案：以下の項目について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ・ JIS 2022 年改正対応（資料 108-16-3-1, 2）

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 108-17】

（説明者：高温規格分科会 高屋主査）

- 高速炉規格 2025 年版改定案 投票意見対応の審議等：
 - ① ETD22-012「解説 FSSB-3000 の簡素化」：規格委員会投票 No. 604 子投票 1 での意見に対する回答及び回答に伴う軽微な編集上の修正が承認された（資料 108-17-1）。
 - ② ETD22-014「用語「条」「項」「号」の使用法の適正化」：規格委員会投票 No. 604 子投票 2 での意見に対する回答及び回答に伴う軽微な編集上の修正が承認された（資料 108-17-2）。
 - ③ ETD23-004「2025 年版準用規格年版の更新提案（その 1）」：第 107 回規格委員会にて書面投票の実施が承認された案件「2024 年版準用規格年版の更新提案（その 1）」について、発行計画の見直しに伴い、書面投票実施の際に議案名を「2025 年版準用規格年版の更新提案（その 1）」に変更すること、これまでに規格委員会で承認された 2024 年版改定案件も、2025 年版に反映することを報告した（資料 108-17-3）。現時点では技術評価対象ではないこと等も考慮して、柔軟に対応するとよいとの意見があった。
- 高速炉規格 事例規格案 新規提案の審議：
 - ① ETD22-006「事例規格「緩和クリープ損傷係数 D^* 及び D^{**} の算定に関する代替規定」：書面投票の開始が承認された（資料 108-17-4）。
 - ② ETD19-001「事例規格「長期一次応力が低い場合の規定」の代替規定」：原子力専門委員会での可決を条件とした書面投票の開始が承認された（資料 108-17-5）。

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議：審議なし【資料 108-18 欠番】

(4-2-7) 配管減肉管理規格：審議なし【資料 108-19 欠番】

(4-2-8) 配管耐震評価事例規格に関する審議：審議なし【資料 108-20 欠番】

(4-2-9) 環境疲労評価に関する規格（報告）【資料 108-21】

（説明者：疲労評価分科会 平野副主査）

公衆審査御後、2022 年版の発行に向けた準備状況についていかのとおりの報告があった。

- 和文、英文版の修正作業、転載許可対応を終え、来年 1 月には出版原稿を提出できる見込みである。
- 環境疲労評価手法 2022 年版の発行を受け、講習会の実施を検討中である。

(4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格：審議なし【資料 108-22 欠番】

(4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン：審議なし【資料 108-23 欠番】

(4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：【資料 108-24】

（説明者：目標信頼性評価検討タスク 岡島幹事）

➤ 公衆審査意見対応の審議：

公衆審査への意見対応案について説明が行われた。挙手による採決の結果意見への回答として意見者への送付並びにホームページに掲載することが承認された。これを受け、本日付けで本ガイドラインを 2023 年版として制定することが確認された。

(4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議：【資料 108-25】

（説明者：竜巻影響評価分科会 白井主査、清水委員）

- 書面投票意見対応に伴う修及び公衆審査計画関する規格案修正：規格委員会投票 No. 566 での意見対応に伴う規格案の編集上の修正内容及び公衆審査書面投票の実施に対してメール審議の実施が提案され、挙手による採決にて承認された。

(4-2-14) 発電用設備規格関連の材料事象の解説に関する審議：【資料 108-26】

（説明者：材料専門委員会 西井委員長）

- 書面投票意見対応：規格委書面投票 No. 619 での意見対応について説明が行われ、挙手による採決により承認された。これにより書面投票の可決が確定した。（資料 108-26-1）
- 公衆審査計画：書面投票の可決を受け、公衆審査の実施が提案され、承認された。（資料 108-26-2）

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 108-4】

伊阪幹事より 5/9 に開催された第 96 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 106-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 質問受付回答状況【資料 108-6-1】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料により報告された。

(5-4) 公衆審査報告【資料 108-6-2】

事務局より、以下の公衆審査が意見なしで終了したことが報告された。これを受け、同規格を本日（2023/12/21）付けで制定することが確認された。

- ・ 意見受付公告 197：使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格 2023 年版及び事例規格集

(5-5) 火力専門委員会報告【資料 108-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 11/30 に WEB 開催された第 106 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第 107 回火力専門委員会は 2024/2/28 に WEB 開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告【資料 108-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 12/7 に WEB 形式で開催された第 116 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
- 次回 第 117 回原子力専門委員会は 2024/2/29-3/1 にハイブリッド形式で開催予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 108-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 11/24 に WEB 形式で開催された第 60 回材料専門委員会での審議を中心に活動状況が報告された。
- 次回 第 61 回材料専門委員会は 2024/3/6 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 108-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 第 83 回核融合専門委員会は 12/15 に WEB 形式で開催された。「NBI 高電圧ブッシング絶縁円筒構造規格」の書面投票が完了し、可決・承認されたこと、さらに 3 月の規格委員会にて同規格案の審議を依頼する予定であることが報告された。
- 次回 第 84 回核融合専門委員会は 2024/3/6 に WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 108-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 2023/12/13 に開催された規格類協議会の議事内容として原子力規制庁との意見交換の状況等が報告された。
- 次回幹事会は 2024/2/5、本会議は 3/11 開催の予定。

(6-2) 主要 3 規格に対する規制庁技術評価対応の報告【資料 108-11-2】

松永原専長より、技術評価の進捗状況が報告された。内容は以下のとおり。

- 10/2 に第 4 回技術評価検討チーム会合（公開）で開催された。
- 先行して行われた設計建設、材料規格を対象に技術評価書案が NRA より提示された。

(6-3) ASME Code 委員会に関する報告【資料 108-11-3】

原子力専門委員会 松永委員長より、10/30～11/16 に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- SDO Code Convergence Board (11/13) : 添付－ 1
- Seismic Design Steering Committee (11/9) : 添付－ 2
- ASME/JSME Joint TG Severe Accident (11/14) : 添付－ 3
- ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (11/9) : 添付－ 4

(6-4) 発電規格の出版状況に関する報告【資料 108-11-6】

事務局より、規格の電子は維新及び出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 2022 年版として以下の 3 規格の電子配信サービスを開始した。冊子版については 2023/12 月末までに発行される見込みである。

- ・ JSME S NC2-2022 発電用原子力設備規格 設計・建設規格＜第Ⅱ編 高速炉規格＞
- ・ JSME S NG1-2022 発電用原子力設備規格 PWR配管減肉管理技術規格
- ・ JSME S NH1-2022 発電用原子力設備規格 BWR配管減肉管理技術規格

(7) 今後の予定

次回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第109回 発電用設備規格委員会：2024年3月13日(水) 10:00～17:00(WEB開催)

以 上